

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 2 年 9 月 2 6 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3492700038		
法人名	株式会社 富山学園		
事業所名	グループホーム ほのぼの苑 廿日市東		
所在地	広島県廿日市市桜尾本町3番21号 (電話) 0829-34-3800		
自己評価作成日	平成2年8月25日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=3492700038-00&ServiceCd=320&Type=search
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和2年9月16日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

お一人お一人の心に寄り添い、いつも笑顔で穏やかに過ごして頂くことを目標に日々支援を続けています。職員も同じように笑顔でいることを努めています。近隣には桂公園や招魂社、廿日市天満宮など四季折々を楽しんで頂いております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

利用者が入居する前からの知人による面会など、市街地からも近いことから気軽に訪れやすい環境であるほか、感染症対策を実施しながら、職員の手による敬老会や野球応援などの利用者が楽しめる企画のほか、できる限り筋力低下を防ぐために廊下を歩く歩行訓練やDVD体操、コーヒーを楽しむなどの工夫も行っている。
利用者一人ひとりの思いに寄り添い、利用者も職員も笑顔で接し穏やかに過ごしてもらうために日々工夫がなされている。

自己評価	外部評価	項目(1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践に近づけている。	苑の理念とスタッフの改善を毎朝の申し送りで唱和し実践している。スタッフ会議で話し合い、利用者への対応の改善についての心構え、申し送り時に唱和し改善しているものもある。	法人の理念のほか、事業所のスタッフ全員で事業所独自に定めた「スタッフの改善について」を唱和し、日々の業務の振り返りを行っている。その結果、利用者への対応やその改善、心構えについて日々振り返りを行うきっかけとなっている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	町内会へ入会、利用者様との散歩の時や他職員の出勤退勤時にも地域の方々と挨拶を交わし馴染みの関係を作っている。	日頃から近隣との挨拶をはじめ、隣近所同士での「おすそ分け」もし合える関係も築き、町内会にも加入するなど、事業所自体が地域の一員として日常的に交流がなされている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	施設見学会を年に数回開催している。チラシ配布、苑前に掲示などでお知らせし高齢者施設に関する質問や相談に応じている。臨時対応も行っている。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	市、町内会、民生委員、ご家族様に参加して頂き、現状報告を行っている。また毎回講師の先生を招き、栄養指導・防災・認知症予防等について研修を行っている。頂いたご意見、研修の内容は、朝礼時や会議にて伝達しサービス向上に繋げている。	運営推進会議には、町内会、民生委員、家族や市職員なども参加しており、現状報告や事業所運営に関する意見を求めている。また、管理栄養士や薬剤師、笑いヨガ、介護保険の話題など様々な話題が提供できるゲストを招き、事業所のサービス向上に結び付けている。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	介護保険に関する情報を市からメール頂いたり、地域包括支援センターと入居の件で情報交換するなど、連携を図っている。また、月一回、介護相談員に来苑頂き、利用者の声を行政に届けている。	市の介護保険担当部局や地域包括支援センターなどとも連携や情報交換なども行っているほか、介護相談員に月1回利用者と話し、利用者の声を行政に届けるための支援も行っている。	

自己評価	外部評価	項目(1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束は原則行わない方針を全職員に周知している。玄関の施錠については車の往来等の為やむを得ず施錠している。</p>	<p>日常的に身体拘束防止のための研修を行っており、法人本部の研修を受けた職員が事業所内で伝達研修を行っている。言葉での拘束も予防するための「言葉のチェック」のほか、身体的拘束や薬を使用しての拘束予防なども意識づけている。その結果、帰宅願望のある利用者への対応改善などの効果がみられる。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>虐待防止マニュアルを作成し、職員間で共有している。また、定期的に虐待チェックシートを記入し自己評価をすることで虐待防止に対する意識を高めている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>マニュアルを用意し、スタッフ会議などで職員に周知徹底するように心掛けている。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約の際は十分時間をとり分かりやすく説明を行う事を心かけている。ご家族の理解、納得をして頂くよう努めている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>面会時にはご家族様にご利用者の支援方法を報告し頂いた意見はケアに反映させていただきよう努めている。</p>	<p>利用者から「帰りたい」という要望があったときは、外に散歩に出ることで寂しさを和らげるなど、本人本位に対応がなされている。また、運営推進会議や家族面会などの機会を利用して意見聴取を行っているほか、感染症対策で面会が難しい場合は、職員から電話による状況報告を行い、家族意見を求めている。</p>	

自己評価	外部評価	項目(1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	月に1回定期的に開くスタッフ会議には必ず代表取締役の出席仰ぎ、職員の意見や提案が届くように配慮している。	定期的なスタッフ会議に法人代表が出席しているほか、事業所内の業務改善を目的とした「委員会」単位でも代表と意見交換を行っている。その結果、勤務開始時間の改善や、業務で使用するオムツの使用方法に関する改善など、業務運営に職員意見の反映がなされている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	個人の勤務希望を配慮し、労働しやすい条件を組んでいる。代表者は賞与などに日頃の努力実績を繁栄させ職員の向上心を上昇させるべく整えている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	職員に必要な研修を受講できるよう配慮している。受講後スタッフ会議で全職員に伝達している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	施設見学の際には各事業所に案内を郵送し、他事業所からもお知らせが郵送されてきます。他事業所の方が見学に來られ情報交換することもある。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入居前又は入居時はご本人と面談を行い不安や要望等があった際には納得して頂くまで傾聴し安心して生活して頂ける関係づくりに努めている。		

自己評価	外部評価	項目(1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>不安なく入居して頂けるように面談や電話で話を伺う機会を設け信頼関係を構築に努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>本人のADLとご家族の要望を正確に把握し、総合的な支援を考えるようにしている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>日々の生活の中で食事の片づけ、洗濯干し、たたみ等利用者が出来る事は積極的に声かけ、一緒に行い家庭的な雰囲気作りに努めている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>日頃の状態をこまめに報告し、ご家族の思いや意見もお聴きしながら、同じ様な思いで支援する事を心掛けている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>これまでの人間関係やご近所付き合いなどを把握し、面会に来ていただいたりと繋がりを継続できるよう支援している。</p>	<p>家族による定期的な墓参りなどの外出には、感染症に注意しながら実現できるよう支援したり、家族宛の年賀状作りの支援や、家族との電話ができるよう取次ぎを行ったりもしている。また、風通しも良く感染症対策が取られた応接室で家族と面会できるよう配慮もなされている。</p>	

自己評価	外部評価	項目(1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	仲良くなられた利用者様同士でお互いに声を掛け合ったり協力し合える関係が見られ職員はそっと見守るような支援をしている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	契約終了後も必要に応じて相談を受け少しでもお力になれるように努めている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日常の会話やその表情などからも望んでおられることを汲み取るようにしている。これまでの生活歴やご家族からも情報を収集し、その人らしさの把握に努めている。	利用者との日々のかかわりの中で、思いや希望をくみ取るよう心掛けて接している。その結果、塗り絵を一日中していた利用者に思いを聞いたところ、「することがない」ということだったため、風船バレーなどのレクリエーションに参加してもらうなど、本人本位の対応がなされている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居前にご本人様やご家族様から生活歴や要望等をお聴きし馴染みの生活が継続できるよう環境作りをしている。また、入居前のサービス提供者より情報を得ている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	ご利用者様一人一人の身体、生活状況の変化を介護記録に残し職員間で話し合い現状の把握に努めている。		

自己評価	外部評価	項目(1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>ご本人、ご家族の意向、介護スタッフ、看護師等の情報交換を密にして個別性のあるケアプランを作成している</p>	<p>利用者の状態を把握し、生い立ちや希望を把握するアセスメント手法としてセンター方式を取り入れている。また、ケアプランに沿った介護を行っているか日々振り返りを行うため、短期目標に実施チェックや1か月の気付き、近況報告なども盛り込み、より良い介護計画作成の取り組みがなされている。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>個別の経過記録を記入し、職員間で確認している。また、「ケアプラン実施表」に介護職が毎日気付き等を記入することで情報の共有や介護計画見直しに生かしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>ご本人のニーズに合った支援が行なわれるよう心がけている。また、ADL低下が見られる時は、生活リハの強化に力を入れている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>地域行事に参加させて頂くとともに、散歩等、地域の中で楽しみを感じて頂いている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>入居時に苑の協力医の説明を行うと同時に本人様の馴染みのかかりつけ医を設定されることも自由である旨を説明している。看護師による医療連携も行われている。又定期的な訪問歯科の口腔ケアも取り入れている。</p>	<p>かかりつけ医は自由に選ぶことができ、看護師による医療との連携も行われているほか、医師とのやり取りを家族に報告する「医療連携記録表」をつけるようにしている。協力医は時間外でも対応できるなどの体制も整えられているほか、訪問歯科による口腔ケアも実施している。</p>	

自己評価	外部評価	項目(1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	申し送りや日常業務の中で小さな変化があれば、すぐに看護師に相談し緊急度合いによっては、受診や往診を依頼している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時にはホームの生活・医療等の情報提供を行い、安心して治療が行えるように整えている。また入院中病院を訪問したり電話にて連絡を行い本人のADL、体調面の情報を得ている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	契約時に重度化や終末期における対応に関する指針を説明するとともに、必要時にはご家族・かかりつけ医・苑が十分に話し合いを持ち、施設としての対応を十分納得して頂くまで行っている。	入居時に、重度化した場合や終末期に関する対応を説明しているほか、実際に重度化した場合には医師や家族も含めた話し合いが行われている。また、医師や看護師など専門職でチームで対応にあたっているほか、家族には随時状態を報告している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	事故対応マニュアルがあり、急変・事故発生時対応できるように学んでいる。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	消防訓練は月1回利用者様と共に行い夜間での訓練も夜勤者全員が行うようにしている。災害対策については3日分の食料の備蓄、簡易トイレ等を備えている。またダウンジャケットも用意している。	月1回の定期的な消防訓練のほか、実際に夜間にも避難訓練を実施している。また、食料の備蓄、簡易トイレ、災害用ライフジャケットなども用意し、災害に備えている。	

自己評価	外部評価	項目(1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	お一人お一人に合った声かけを心掛けている。毎朝申し送りで言動を見つめなおすべくスタッフ改善の言葉を唱和している。	利用者一人ひとりに合った声かけの方法を工夫し、プライバシーに配慮するため入浴時も一対一で介助を行っている。また、トイレなどの誘導時における声の大きさや場面についても配慮がなされ、利用者の誇りやプライバシーを損なわない対応がなされている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	職員と1対1になる入浴時や散歩時にはくつろいだ気持ちで自然な思いを語って頂ける事が多く、出来るだけその思いを具体化出来るように努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	基本的に利用者様の生活リズムに合わせて、起床、食事などの時間も個別対応している。外出、散歩等、出来る限り要望に応えられるよう努力している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	更衣時にはご自分の好みの衣服を選んで頂いたり、訪問理美容に来苑して頂き、いつも綺麗にいて頂くように支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	3食職員の手つくりの食事は色合いよく、食欲をそそるように、また旬の物や3階菜園の野菜も取り入れている。利用者様には下準備や配膳等手伝って頂いている。	買い物や調理を専門に行う「調理担当職員」を配置し、冷蔵庫の中を確認して食材の買い出しを行うなど、一汁三菜の家庭的な料理を提供している。また、家庭菜園を共に楽しんだり、高さ調整できるテーブルと椅子の設置、配膳や片付けを利用者と共に行うなど、食事を楽しむための工夫もなされている。	

自己評価	外部評価	項目(1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>毎日、食事、水分摂取量を記録し個々の咀嚼、嚥下状態に合わせた食事形態に対応している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後口腔ケアを実施し口腔内の清潔保持に努めている。また必要な方には訪問歯科医による治療、また入居者様全員定期的に口腔ケアも行なっている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>排泄表に記録することで個々のリズムを把握し、トイレでの排泄を促している。また、利用者様の尿量に応じた適切なパットを模索しご家族に提案し使用している。</p>	<p>排泄チェック表をつけて排泄リズムを把握しているほか、水分量も毎日把握しジュースやゼリーなど水分の摂取方法も工夫している。また、パットの使用状況報告も毎月記入しており、効率的なパットの使用方法など、個別に対策を立てている。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>食事の中で繊維質や乳酸菌を多く取り入れるように心掛けている。また、適度な運動を働きかけながら自力排便できるように支援している。必要に応じて医師に相談して薬でコントロールを行っている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めず，個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>ご希望の時間帯に入浴できる配分はできないが、日を変える工夫は行っている。入浴時に気分が乗らず、お断りされる利用者様には世間話からはじまり入浴への工夫をしている。</p>	<p>利用者は週2回、午後に入浴しているが、希望や状況によって日にちや時間をずらすなどの工夫も行っている。また、肌触りの良いボディソープの使用や足浴など、利用者が気持ちよく過ごしてもらえるような工夫もなされている。</p>	

自己評価	外部評価	項目(1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	<p>前日の夜間の睡眠時間に合わせて日中の休息時間を工夫している。夜間眠れない時は無理強いせず、ペースにあわせた支援を心掛けている。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<p>薬局と連携を取り、薬の飲み合わせや副作用について説明を受け確実な服薬支援をしている。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	<p>1日の楽しみ、役割を持ち、張りのある生活を送って頂くことを心掛けている。散歩や3階の花壇等で気分転換をはかっている。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>天気の良い日にはADL、体調に応じた距離で散歩に出かけ気分転換を心掛けている。墓参りなどはご家族様の協力を頂いている。</p>	<p>近隣の天満宮や公園に散歩に出かけたり、家族の協力を得て墓参りにでかけてもらうなど、なるべく一人ひとりの希望に応じて外出ができるような支援がなされている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<p>現在、入居されておられる利用者様で金銭管理が出来る方はおられない為、事務所で保管し必要時は使えるようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>入居者様にご家族に毎年年賀状を出されているので、作成を支援している。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>リビングには利用者様と一緒に作成した季節の飾り付けをしている。またホールの廊下には絵画を飾り落ち着いた雰囲気を出している3階のベランダ花壇には季節の花や野菜を育てている。</p>	<p>リビングや廊下には季節の飾りつけや絵画を取り付けているほか、ベランダ花壇には花や野菜などを栽培し、利用者とともに水やりなどの世話を行っている。建物の設備や広さを活かし、居心地よく過ごせるような工夫がなされている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>利用者様の個々の思いを尊重しながら、対応している。気の合う利用者様とは隣席にしたりと一人ひとりが落ち着いた空間で過ごせるよう工夫している。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>入居時にご家族の写真やアルバムを持って来られ飾られている。入居後はご自分の作品ぬり絵などを飾っておられる。</p>	<p>居室にはチェストやクローゼットなど、物品を収納できることで居室を広く使ことができ、家族の写真やアルバムなど、利用者が居心地よく過ごせるような工夫がなされている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>お一人お一人の身体状況により、ご自分の力で動き、また危険回避できるよう、物の配置に配慮している。</p>		

V アウトカム項目(1 階) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目(2 階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践に近づけている。	苑の理念とスタッフの改善を毎朝の申し送りで唱和し実践している。スタッフ会議で話し合い、利用者への対応の改善についての心構え、申し送り時に唱和し改善しているものもある。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	町内会へ入会、利用者様との散歩の時や他職員の出勤退勤時にも地域の方々と挨拶を交わし馴染みの関係を作っている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	施設見学会を年に数回開催している。チラシ配布、苑前に掲示などでお知らせし高齢者施設に関する質問や相談に応じている。臨時対応も行っている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	市、町内会、民生委員、ご家族様に参加して頂き、現状報告を行っている。また毎回講師の先生を招き、栄養指導・防災・認知症予防等について研修を行っている。頂いたご意見、研修の内容は、朝礼時や会議にて伝達しサービス向上に繋げている。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	介護保険に関する情報を市からメール頂いたり、地域包括支援センターと入居の件で情報交換するなど、連携を図っている。また、月一回、介護相談員に来苑頂き、利用者の声を行政に届けている。		

自己評価	外部評価	項目(2 階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束は原則行わない方針を全職員に周知している。玄関の施錠については車の往来等の為やむを得ず施錠している。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	虐待防止マニュアルを作成し、職員間で共有している。また、定期的に虐待チェックシートを記入し自己評価をすることで虐待防止に対する意識を高めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	マニュアルを用意し、スタッフ会議などで職員に周知徹底するように心掛けている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約の際は十分時間をとり分かりやすく説明を行う事を心かけている。ご家族の理解、納得をして頂くよう努めている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	面会時にはご家族様にご利用者の支援方法を報告し頂いた意見はケアに繁榮させていただくよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目(2 階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	月に1回定期的に開くスタッフ会議には必ず代表取締役の出席仰ぎ、職員の意見や提案が届くように配慮している。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	個人の勤務希望を配慮し、労働しやすい条件を組んでいる。代表者は賞与などに日頃の努力実績を繁栄させ職員の向上心を上昇させるべく整えている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	職員に必要な研修を受講できるよう配慮している。受講後スタッフ会議で全職員に伝達している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	施設見学の際には各事業所に案内を郵送し、他事業所からもお知らせが郵送されてきます。他事業所の方が見学に來られ情報交換することもある。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入居前又は入居時にご本人と面談を行い不安や要望等があった際には納得して頂くまで傾聴し安心して生活して頂ける関係づくりに努めている。		

自己評価	外部評価	項目(2 階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	不安なく入居して頂けるように面談や電話で話を伺う機会を設け信頼関係を構築に努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	本人のADLとご家族の要望を正確に把握し、総合的な支援を考えるようにしている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	日々の生活の中で食事の片づけ、洗濯干し、たたみ等利用者が出来る事は積極的に声かけ、一緒に行い家庭的な雰囲気作りに努めている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	日頃の状態をこまめに報告し、ご家族の思いや意見もお聴きしながら、同じ様な思いで支援する事を心掛けている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	これまでの人間関係やご近所付き合いなどを把握し、面会に来ていただいたりと繋がりを継続できるよう支援している。		

自己評価	外部評価	項目(2 階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	仲良くなられた利用者様同士でお互いに声を掛け合ったり協力し合える関係が見られ職員はそっと見守るような支援をしている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	契約終了後も必要に応じて相談を受け少しでもお力になれるように努めている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日常の会話やその表情などからも望んでおられることを汲み取るようにしている。これまでの生活歴やご家族からも情報を収集し、その人らしさの把握に努めている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居前にご本人様やご家族様から生活歴や要望等をお聴きし馴染みの生活が継続できるよう環境作りをしている。また、入居前のサービス提供者より情報を得ている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	ご利用者様一人一人の身体、生活状況の変化を介護記録に残し職員間で話し合い現状の把握に努めている。		

自己評価	外部評価	項目(2 階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>ご本人、ご家族の意向、介護スタッフ、看護師等の情報交換を密にして個別性のあるケアプランを作成している</p>		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>個別の経過記録を記入し、職員間で確認している。また、「ケアプラン実施表」に介護職が毎日気づき等を記入することで情報の共有や介護計画見直しに生かしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>ご本人のニーズに合った支援が行なわれるよう心がけている。また、ADL低下が見られる時は、生活リハの強化に力を入れている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>地域行事に参加させて頂くとともに、散歩等、地域の中で楽しみを感じて頂いている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>入居時に苑の協力医の説明を行うと同時に本人様の馴染みのかかりつけ医を設定されることも自由である旨を説明している。看護師による医療連携も行われている。又定期的な訪問歯科の口腔ケアも取り入れている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(2 階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	申し送りや日常業務の中で小さな変化があれば、すぐに看護師に相談し緊急度合いによっては、受診や往診を依頼している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時にはホームの生活・医療等の情報提供を行い、安心して治療が行えるように整えている。また入院中病院を訪問したり電話にて連絡を行い本人のADL、体調面の情報を得ている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	契約時に重度化や終末期における対応に関する指針を説明するとともに、必要時にはご家族・かかりつけ医・苑が十分に話し合いを持ち、施設としての対応を十分納得して頂くまで行っている。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	事故対応マニュアルがあり、急変・事故発生時対応できるように学んでいる。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	消防訓練は月1回利用者様と共に行い夜間での訓練も夜勤者全員が行うようにしている。災害対策については3日分の食料の備蓄、簡易トイレ等を備えている。またダウンジャケットも用意している。		

自己評価	外部評価	項目(2 階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	お一人お一人に合った声かけを心掛けている。毎朝申し送りで言動を見つめなおすべくスタッフ改善の言葉を唱和している。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	職員と1対1になる入浴時や散歩時にはくつろいだ気持ちで自然な思いを語って頂ける事が多く、出来るだけその思いを具体化出来るように努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	基本的に利用者様の生活リズムに合わせて、起床、食事などの時間も個別対応している。外出、散歩等、出来る限り要望に応えられるよう努力している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	更衣時にはご自分の好みの衣服を選んで頂いたり、訪問理美容に来苑して頂き、いつも綺麗にいて頂くように支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	3食職員の手づくりの食事は色合いよく、食欲をそそるように、また旬の物や3階菜園の野菜も取り入れている。利用者様には下準備や配膳等手伝って頂いている。		

自己評価	外部評価	項目(2 階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。	毎日、食事、水分摂取量を記録し個々の咀嚼、嚥下状態に合わせた食事形態に対応している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後口腔ケアを実施し口腔内の清潔保持に努めている。また必要な方には訪問歯科医による治療、また入居者様全員定期的に口腔ケアも行なっている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	排泄表に記録することで個々のリズムを把握し、トイレでの排泄を促している。また、利用者様の尿量に応じた適切なパットを模索しご家族に提案し使用している。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。	食事の中で繊維質や乳酸菌を多く取り入れるように心掛けている。また、適度な運動を働きかけながら自力排便できるように支援している。必要に応じて医師に相談して薬でコントロールを行っている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。	ご希望の時間帯に入浴できる配分はできないが、日を変える工夫は行っている。入浴時に気分が乗らず、お断りされる利用者様には世間話からはじまり入浴への工夫をしている。		

自己評価	外部評価	項目(2 階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	前日の夜間の睡眠時間に合わせて日中の休息時間を工夫している。夜間眠れない時は無理強いせず、ペースにあわせた支援を心掛けている。		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	薬局と連携を取り、薬の飲み合わせや副作用について説明を受け確実な服薬支援をしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	1日の楽しみ、役割を持ち、張りのある生活を送って頂くことを心掛けている。散歩や3階の花壇等で気分転換をはかっている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	天気の良い日にはADL、体調に応じた距離で散歩に出かけ気分転換を心掛けている。墓参りなどはご家族様の協力を頂いている。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	現在、入居されておられる利用者様で金銭管理が出来る方はおられない為、事務所で保管し必要時は使えるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目(2 階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>入居者様にご家族に毎年年賀状を出されているので、作成を支援している。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>リビングには利用者様と一緒に作成した季節の飾り付けをしている。またホールの廊下には絵画を飾り落ち着いた雰囲気を出している3階のベランダ花壇には季節の花や野菜を育てている。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>利用者様の個々の思いを尊重しながら、対応している。気の合う利用者様とは隣席にしたりと一人ひとりが落ち着いた空間で過ごせるよう工夫している。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>入居時にご家族の写真やアルバムを持って来られ飾られている。入居後はご自分の作品ぬり絵などを飾っておられる。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>お一人お一人の身体状況により、ご自分の力で動き、また危険回避できるよう、物の配置に配慮している。</p>		

V アウトカム項目(2 階) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームほのぼの苑廿日市東

作成日 令和2年10月25日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	34	夜間の急変、事故発生の対応が乏しい	全職員がマニュアルに沿った対応ができる	・毎月行っているスタッフ会議で急変、事故発生事の研修を実施 ・マニュアルの見直し ・夜間緊急時の応援職員の見直し	6カ月
2	25	ユニットに男性お一人のため居室に閉じこもりがちになり体重も増加傾向である	お食事以外でもリビングで皆さまと一緒に過ごす時間が増える	・体操や活動的なレクリエーションの実施 ・天候の良い日は本人の状態に合わせた散歩に出掛ける ・コミュニケーションをしっかりと取り入れる	1年
3	12	各ユニットの業務に違いがある	ユニットに関係なく職員一人ひとりが入居者様の個々の対応が柔軟に出来る	・定期的に職員のユニット移動を検討する ・情報の共有を行う ・業務の見直しを検討する	1年
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。